

< 3. 12 日本医労連全国統一行動アピール >

「だれもが 8 時間働けばまともな暮らしができる社会」と 社会保障の拡充を求め、20 春闘でさらなる前進をめざそう！

組合員のみなさん。「3.12 全国統一行動」は、新型コロナウイルス感染への対応に注力しながらも、このような不測の事態に直面した時に、あらためて、私たち医療・介護労働者の人員増の必要性を実感し、要求実現をめざす統一行動に結集を呼び掛けています。統一行動では、大幅賃上げと最低賃金の底上げ、非正規雇用労働者の均等待遇実現、増員・労働条件改善などの対使用者要求と、医療・介護・福祉・社会保障の拡充、労働時間規制の強化、感染症対策の可及的速やかな対応などの対政府要求を掲げると共に、憲法改悪反対、戦争法（安保法制）廃止、立憲主義回復などを訴え、全組合員参加による統一行動を展開します。

内閣府が 3 月 9 日発表した 2019 年 10～12 月期の国内総生産改定値は、実質で前期比 1.8% 減、このペースが 1 年続くと仮定した場合の年率換算は 7.1% 減となり、大幅なマイナス幅です。大企業や富裕層を優遇することで国民生活全体が潤うとした安倍政権の誤った経済政策は、いよいよ破綻が明らかとなりました。このような経済状況に、新型コロナウイルス感染による影響が加われば、先ず始めに経営基盤の弱い中小零細企業への影響がまたたく間に広がり、危険な状況へとつながります。さらなる国民生活を圧迫し、弱者にしわ寄せする経済政策から転換するためには、いまの悪政を根底から変える必要があり、いまその重要性が差し迫っています。国民生活を第一に考えるまともな政治に転換させるため、本日の行動の中でも、職場や組合ごとに 20 春闘での要求前進をめざす意思統一を広げましょう。

組合員のみなさん。日本医労連と全国の加盟組織は 11 日の回答指定日に向けて、「指定日厳守と誠意ある回答」を求めて回答前段の経営者要請行動や事前団交を展開しました。医療や介護職場の高い離職率と慢性的な人手不足を解消するためには、大幅賃上げと最低賃金の底上げで他産業との格差をなくし、働き続けられる職場をつくるためにまともな人員体制を確立することが喫緊の課題です。経済政策においても、すべての労働者の大幅賃上げを実現し、とりわけ労働者全体の 4 割に達する非正規雇用労働者の処遇を改善することで、国内消費を引き上げて立て直しを図ることが重要です。そして、くしくも今回の新型コロナウイルス感染問題で浮彫となった、医療・介護・福祉労働者の人手不足や、公立公的病院の再編縮小を改め、抜本的な改善に切り替えることが急務の課題です。

私たちがはたらく職場を守り、国民だれもが安全・安心の医療・介護を利用できるようにするためにも、私たちが掲げる諸要求の実現は必要不可欠な条件です。3.12 全国統一行動は、全国各地で多様な行動に多くの組合員が結集しています。職場を基礎に、産別の統一闘争への結集をつよめ、20 春闘要求実現めざして頑張りましょう。

以上